



世田谷区防災環境マップ 2005

地域からの防災まちづくりの手引き

この防災環境マップは、区民参加による地域に根ざした防災まちづくりの推進や、行政が防災まちづくり基本方針を策定し防災政策の展開を図る際の基礎資料として作成したものです。

今回示した「世田谷区防災環境マップ2005」では、約10年前に作成した「世田谷区防災環境マップ1996」をもとに、平成13年度土地利用現況調査や住民基本台帳等の調査結果から、一部のデータを最新のものに更新しました。また、平成14年3月に東京消防庁によって公表された「東京都の地震における地域別延焼危険度測定（第6回）」の結果や、平成17年に内閣府「地震被害に関する検討会」によって作成された地震防災マップ等、最新の分析結果も参考として添付しました。

<集計・分析>

分析する内容により、町丁目別、街区別、250mメッシュ単位、50mメッシュ単位ごとに集計を行っています。

<留意点>

密度などを集計する際に使用する街区、町丁目別等の面積は、図上計測により算定したものであり、実際と異なる場合があります。

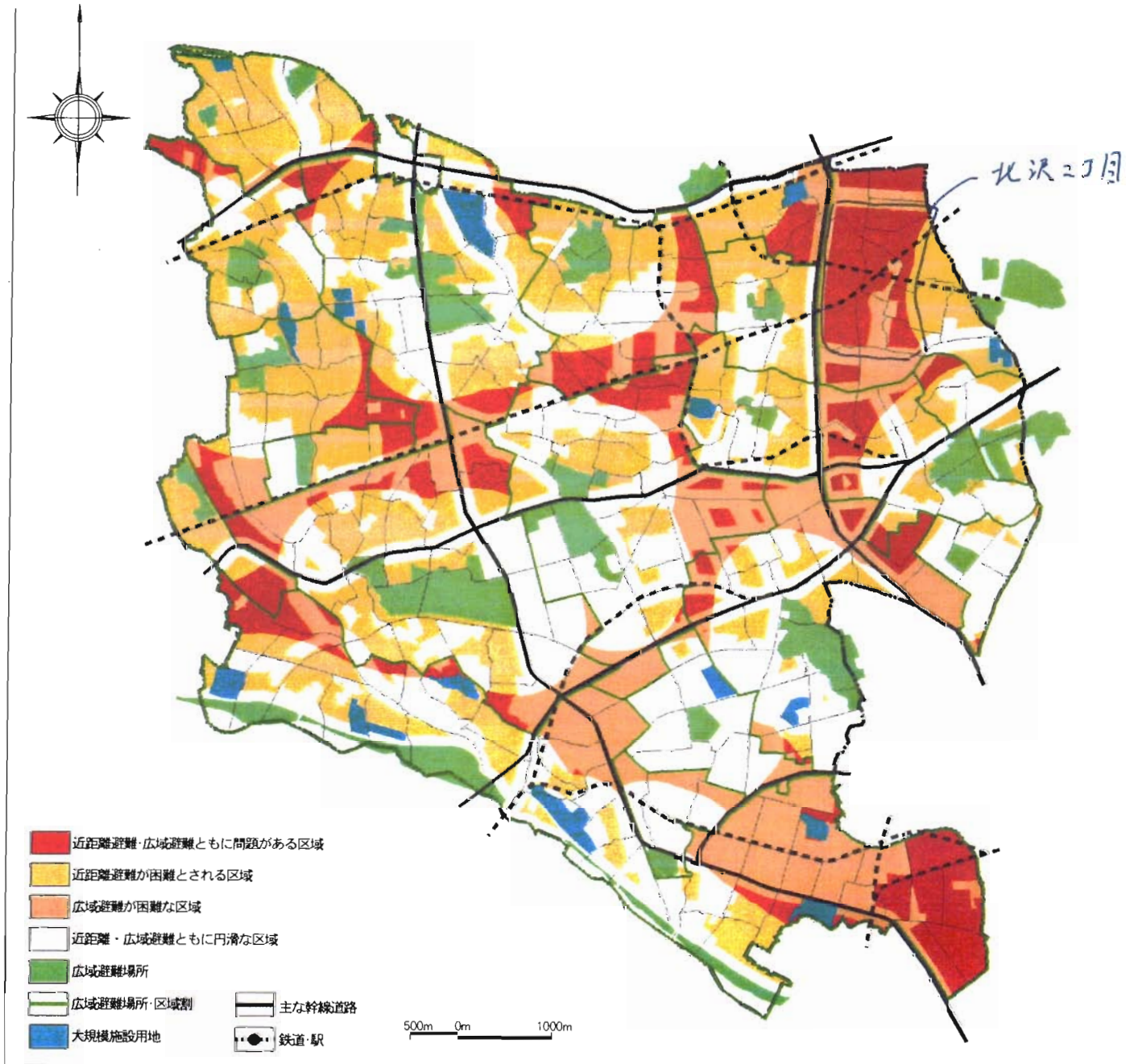
この防災環境マップは、世田谷区の防災について考え、安全なまちづくりを行っていく際の手掛かりとなる防災環境に関する基礎情報を提供するもので、災害を予測するものではありません。



防災環境マップ-3(避難の安全性)

避難の安全性

マップ 3



上図は、マップ3-1近距離避難が困難とされる区域とマップ3-2広域非難が困難な区域をもとに、避難の安全性を総合的に評価したものです。

この結果、環状7号線東側、南東部などに、近距離避難・広域避難ともに問題がある区域がまとまっています。